

◎家畜伝染病の防疫対策にしっかりと取り組もう。
◎適期収穫と正しい調製作業で良質な自給飼料を確保しよう。

<要約>

- ◇ 乳用牛 ～牛群検定成績を活用した飼育管理の改善～
乳成分は個体の栄養状態を表しているため、数値の変化に十分注意し、必要に応じて給与飼料を増減する。また、乳質改善のため、個体別の体細胞数を把握するとともに、乾乳期のディッピングによる乳房炎の予防や早期の治療を行う。
- ◇ 肉用牛 ～肥育牛の飼育管理～
敷料の交換や飼槽の掃除などを定期的に行うとともに、暑熱時には送風機等によりストレスを軽減させる。また、ビタミンA欠乏症や尿石症には特に注意し、予防と早期治療に努める。
- ◇ 豚 ～人工授精による効率的な肉豚の生産～
人工授精を活用し、産肉性に優れ、斉一性の高い肉豚を生産するとともに、種雄豚の飼育頭数を減らすなどして生産コストを低減する。
- ◇ 鶏 ～青森シャモロックの飼育管理～
飼育密度に注意し、必要な場合はデビーク（断嘴）を行う。また、病原体の侵入を防ぐため、踏み込み消毒槽を設置するとともに、鶏コクシジウム症の発生予防のため、マニュアルに沿ったワクチン接種を行う。開放部にネットや金網を設置し、鶏舎への野生動物の侵入を防ぐ。
- ◇ 草地・飼料作物 ～トウモロコシサイレージ及び稲発酵粗飼料の調製～
 - 1 トウモロコシをサイレージに調製する場合、黄熟期に収穫し、速やかかつ厳重に密封する。細断型ロールベアラ体系では、黄熟後期に収穫し、ラップフィルムを8層巻きにする。
 - 2 牧草収穫作業機でロールベアラサイレージに調製する場合は、土砂の混入に注意し、予乾・反転作業は1回に止める。



報道機関用提出資料	
担当課 担当者	畜産課 経営支援グループ 上原子GM
電話番号	直通 017-734-9496 内線 4817
報道監	農林水産部 西村次長 内線 4967